



- 目次 (1) 授業で紹介された本 (3) 学生からの絵本紹介（実習編）  
(2) 令和6年度公開講座② (4) 図書館からお知らせ

## はじめに

早いものでもう1月下旬となりました。1年生の皆さんは初めての保育実習がありますね。2年生の皆さんはいよいよ卒業を迎えます。2年という短い間に多くのことを学び経験し、大変だったと思います。少し早いですが、ご卒業おめでとうございます。春からは多くの方が保育士として働き始めると思います。そこで少し本を紹介します。『保育士になったら最初に読む本』（IDP出版）は、保育士として大切なことや社会人として大切なマナーなど基本的なことをイラストで分かりやすく教えてくれます。パラパラめくるだけでも参考になりますよ。また、以前も紹介しましたが、『ようこそ こどものけんりのほん』（白泉社）です。働き始めるとうまくいかないことは多々あります。たくさん悩むこともあると思いますが、原点に返ろうと思った時はぜひ読んでみてください。



## 授業で紹介された本（水野友美先生）



令和7年1月9日 みつみえの松岡氏を招いて1・2年生合同の性教育についての授業を実施しました。これまでの一般的なイメージとは異なる性教育。生まれた時から性はその人の人権、そして人格の一部と考えると、「オムツ変えるよ」「お洋服脱ぐよ」といった子どもへの一つ一つの声掛けがこれまで以上に大切なことであることに気が付いたのではないのでしょうか。図書館には今後も性教育に関する書籍を増やす予定です。お楽しみに。

・『だいいだいいどこだ？』

えんみ さきこ 作/かわはら みずまる 絵

大泉書店

・『いいタッチわるいタッチ』（★請求記号：E/I）

安藤 由紀 著

復刊ドットコム



## 令和6年度第2回ユマニテク短期大学公開講座を開催！

◆2024年12月7日（土）

ユマニテク短期大学公開講座②

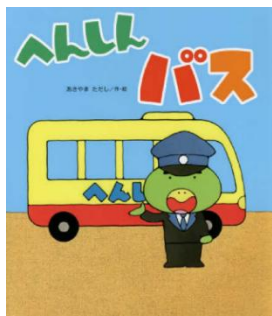
人形劇団むすび座による公演を行いました。演目は「でっかいのちっちゃいの」「ねずみのすもう」計50分の2本立てです。当日は地域の親子連れや本学の学生も一緒に観劇を楽しみました。

図書館では、人形劇団むすび座の創立者である丹下進氏の著書『人形劇をつくる』（大月書店）、同じく劇団所属の西浦万里子氏の著書『人形劇のはじまりはじまり』（草土文化）を所蔵しています。興味を持った方はぜひ読んでみてください。



## 学生の絵本紹介コーナー（実習編）

### 2年生 Yさん 紹介！



★請求記号（E/へ）

●書名：へんしんバス 著者：あきやまだし 出版社：金の星社

私は実習先で最終日の帰りの会に『へんしんバス』を読みました。言葉や色の変化を想像しながら楽しんでほしいという思いで選びました。とても緊張したのですが、子どもたちが見えている声をかけること、目線を合わせることで、絵本が自分に傾かないよう向きに気を付けることを心がけました。絵本を読んでいる際に、くびやしまし、ロボットによく反応をしていて、次は何になるんだろうと集中しながら楽しんで聞いてくれました。絵本を読んだ後、子どもたちがおもしろかったよと伝えてくれたので、子どもたちのために考えて絵本を選んでよかったと感じました。また、子どもたちがもう1回読みたいと『へんしんバス』に興味を持ってきて嬉しく感じました。実習先で絵本を読むことを挑戦してみて、第一に子どものために考えることや何より読んでいる自分自身が楽しいということが大切だと学びました。これからも積極的に挑戦して前に立つ経験を積み重ねたいです。

### 2年生 Tさん 紹介！



★請求記号（E/へ）

●書名：やさいのおしゃべり 著者：泉 なほ 作 / いもとようこ 絵  
出版社：金の星社

私がこの本を選んだのは、いもとようこさんの優しい絵に惹かれたからです。野菜たちのほんわかとした優しい表情を見ているだけでも癒されます。毎日たくさんすることに挑戦し頑張っている子ども達もこの絵本を見て穏やかな気持ちになり、ゆったりとした時間を過ごす事ができるいいなと思い、読み聞かせの絵本に選びました。おいしく食べてもらいたいワクワクしながらスーパーから買われてきたきゅうりくん。だけど「私きゅうり嫌い」とショックな声、おまけに冷蔵庫の中には忘れられ痛みかけている野菜たち、いつ捨てられてしまうのかビクビクしながら野菜たちがおしゃべりしています、この絵本は心当たりのあるお母さんもいるかもしれません。フードロスを防ぐためにも考え直さなければならぬ問題です。子ども達にも野菜の気持ちになり、好き嫌いをすると野菜がかわいそうだね、新鮮なうちに野菜を食べようねなど親子の会話も絵本を通してはずむといいです。

### 2年生 Nさん 紹介！



★請求記号（E/グ）

●書名：ぐりとぐら 著者：なかがわりえこ 著 / おおむら ゆりこ 画  
出版社：福音館書店

私がこの絵本を選んだ理由は、子どもの頃から大好きな絵本で、子どもたちに読んであげたいと真っ先に思ったからです。『ぐりとぐら』は言わずとも知れた福音館書店の一番人気のキャラクターで、1967年の出版以降、長年愛され続けているロングセラー絵本です。日本で2番目に売れている絵本だそうです。ちなみに1番の絵本は『いないいないばあ』とのことです。『ぐりとぐら』の魅力は、何といっても「こぼるリズム」が楽しめること、そしてぐりとぐらはとても仲良し！一緒にいるだけでうれしそうな彼らを見て、子ども達もつられて嬉しくなってくるはず。また、料理を作るといふ子ども達の大好きな場面が出てきます。他と少し違うのが、材料も大きくとてもダイナミック！おいしそうなお話に誘われて、動物たちが集まってくる展開にワクワク感が増してきます。そんな夢のあるお話を子どもたちに読んでもらいたいと思います。

## 図書館からのお知らせ

14号（2025年 1月30日発行）

ユマニテック短期大学 図書学術委員会  
〒510-0066  
三重県四日市市南浜田町 4-21  
TEL 059-356-8170  
<https://www.jchumanitec.ac.jp/library/>  
☆OPAC（蔵書検索）はこちらから↓



### □春休み長期貸出について

1/20（月）から長期貸出期間になります。

<返却日>

【1年生】4/3（木）

【2年生】卒業式前（3/19（水））までに必ず返却しましょう。

### □蔵書点検

3/11（火）～13（木）は蔵書点検のため閉館いたします。

### □みなさんの原稿を募集します！

新刊紹介やおすすめ絵本の紹介などの原稿を募集します。

採用された方には図書カードを進呈します。ご応募お待ちしております。

詳しくは図書館カウンターまで。